

会 報

平成25年5月15日

てんりゅう



～ 地域の明日を拓く三遠南信自動車道 ～

昨年春に供用開始した三遠南信自動車道・三遠道路（浜松いなさ北IC～鳳来峡IC）を走ってきました。13.4キロの距離を約15分で愛知県の鳳来峡ICに到着。沿道はまばゆい新緑に包まれ、快適なドライブでした。天竜の佐久間地域や奥三河への観光・レクリエーションが楽しみな季節です。ぜひ皆様もお出かけください。

会報てんりゅう 第106号

(一社)天竜建設業協会 浜松市天竜区二俣町鹿島491-5 ☎(053)926-1562
編集・発行 広報委員会 題字 長谷川智彦 FAX (053)925-6468
電子メールアドレス tenryu@aqua.ocn.ne.jp
ホームページ <http://www.tenkenkyo.net/>

地域の明日を拓く三遠南信自動車道

はじめに

三遠南信自動車道は浜松市の新東名高速道・浜松いなさジャンクションと愛知県（三河）を経由して長野県飯田市（南信州）とを結ぶ道路として計画・整備されています。またこの間の総延長は約100キロです。

三遠南信自動車道計画のルーツ

この道路整備計画のルーツは1980年代後半に遡ります。1987年に日本の国土づくりの基本となる第4次全国総合開発計画が策定され、その柱の一つが高規格幹線道路の整備でした。高規格幹線道路とは全国的な自動車交通網を形成する自動車専用道路です。全国的に高速道路ネット

ワークを張り巡らし、国土の均衡ある発展を目指すというものでした。三遠南信自動車道もこの全国的な高速交通ネットワークに位置付けられたものです。



▲昨年3月の開通式の様子です。

「 三遠南信自動車道」とは？

○三遠南信自動車道は、長野県飯田市から静岡県浜松市北区に至る延長約100kmの高規格幹線道路です。

○中央道、新東名と連絡し、三河、遠州、南信州地域の連携強化、秩序ある開発、発展に大きく寄与する重要な路線です。

○三遠南信自動車道は2車線で無料の自動車専用道路です。



▲国土交通省中部地方整備局浜松河川国道事務所ホームページより掲載しました。

供用開始と今後の計画

現在、この三遠南信自動車道は長野県側及び静岡県浜松地域の南北双方から順次整備されています。浜松地域についてみますと、昨年3月4日には三遠道路として浜松いなさ北IC間と愛知県の鳳来峡ICの13・4キロが、続いて4月14日には浜松いなさ北ICと浜松いなさジャンクション間の0.5キロが開通し、新東名高速道路と直結されました。

今後は、佐久間道路（延長14キロ）の整備が計画され、うち佐久間IC（仮称）と東栄IC（仮称）間の6.9キロについては、目標として2018年度の供用開始を目指していく方針と伝えられています。これにより、天竜北部地域が便利で活力ある地域になることが大いに期待されます。

将来を展望する

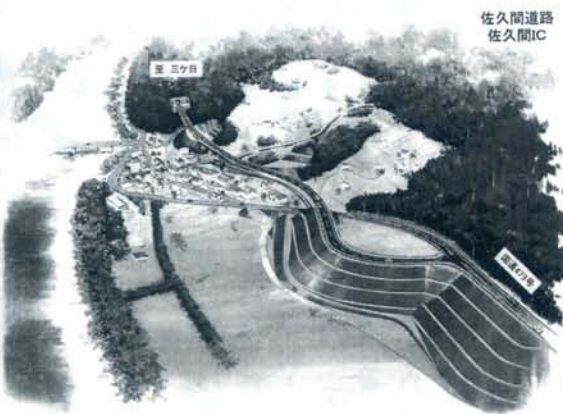
急峻な山岳地形で難工事も予想されることから、全線の完成にはまだまだ相当の年月が見込まれますが、将来的な展望として三遠南信自動車道が完成した暁には、地域からの行動範囲も飛躍的に広がります。また、東名・新東名から中央高速道路、さらに上信越自動車道、北陸道を結ぶ大きな南北道路軸が形成されます。太平洋（遠州灘）と日本海が三遠南信自動車道の完成により直線的に結ばれ、地域

にとつて新たな交流の時代を迎えるといった夢が膨らみます。

地域社会が安全・便利で活力を保ち、地域の未来を夢と可能性に満ちたものにしていく。何時の時代においてもその大きな力が社会資本の整備にあることは確かであると思います。



▶ 佐久間IC（仮称）周辺の完成イメージ図です。佐久間町の地域発展に大きな効果が期待されます。



佐久間道路
佐久間IC



立志式

N・M

先日、某中学校での中学2年生の立志式に立ち会う機会を得た。

昔の元服になぞらえ、14〜15歳で将来どのような大人になりたいかを、象徴する言葉を選び個人別に発表する。例えば「努力」「笑」「二心不乱」など。約20名の成長真っ盛りの少年少女はしっかりと自分の将来を見つめていた。感心した。ふと振り返り、私はもう誰がどう見ても大人である。おっさんである。3人の子供ももう家にはいない。目もかすんできた。だけど立志式で発表する子達の「なりた大人」であるとは到底思えない。そうだ。私は立志式も元服もしていないかった。今から一人で立志式をしよう。将来どのような「お年寄り」になりたいか。



お宝発見

シリーズ第17回 一通の手紙

龍川建設(株)

代表取締役 今場嘉寿

机の中に一通の手紙がありました。文化勲章受賞者の秋野不矩先生から頂いたものです。先生は現在の県立二俣高校から静岡県女子師範学校に進まれ50歳代からインドの大学の客員教授を経てインドの材料を使い新たな美の境地を追求され画壇に多くの功績を残されました。

平成11年、県立二俣高校のPTAをしていた関係で同年7月京都美山町の先生のお宅に伺い直接お話を伺ったあとで、お礼状を出しましたところ自筆の手紙をいただいたものです(当時91歳)。もう、14年も経ちますが先生の笑顔は忘れることができません。

インタビュア慣れされていたのでしうか、カメラを向けると本当にかわいい笑顔をレンズに向けてくださいました。

文面には「みなさんで遠くまで来ていただいたとの労いのことばともてなしをできなかったことへの詫び。昔、横山小学校の教師をしていた頃、「ねんや」神主さんの家に住まいをしていて横山が大変懐かしい。」そんなことが書かれていたものでした。

この一通の手紙は頂いた私にとって大切な宝物です。みなさんも机の奥にそんな思い出をしまっておくのはいいです。

時が過ぎても思い出は色あせることなく心の中、静かに時を刻み続けています。

お宝は思い出とともに自分の胸の内にありますね。



私の安全パトロール日誌

森吉組株式会社 吉田正一

日頃、現場の安全管理には格別な配慮をして頂き大変有難く感じております。

安全パトロールにおいて、そのつど指導した事項については、早急に対処し、指導するなどし、パトロール結果を迅速かつ十分に現場に反映させる努力を心掛け、実施しています。

最近のパトロールにおいて注意して頂きたい事項として、足場設置における敷板、ジャッキベース接続釘の固定がないことや、作業用通路における開口部の止めがない、梯子を上下固定して使用するなど、足場、通路における配慮を御願い致します。「一メートルは、一命とる」というように、少しの高さでも重大事故につながることもあります。働く全ての人達が、毎日無事に我が家に帰ることの出来ることが、安全業務に携わるものとして、切なる願いです。

それぞれの事業所で、日頃より安全対策には十分気を使って頂き、無事故、無災害の職場にして頂けたらと思います。

今後も各社の皆様にご協力を御願い致します。

建設ギャラリー

工事名称 平成24年度一級河川杉川24年河川災害復旧工事（連節ブロック張工）
 工事場所 浜松市天竜区春野町豊岡1地先
 発注者 静岡県浜松土木事務所長
 施工業者 株式会社森下工業
 工事概要 施工延長

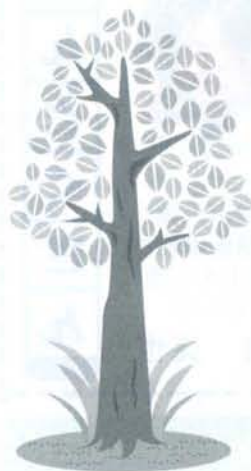
L=47.9m
 （右岸）

連接ブロック張工 402m²
 基礎コンクリート工 47m
 巻止工 48m
 小口止工 1箇所
 横帯工 1箇所
 取合じゃかご 36m



本工事は、平成23年及び24年の度重なる豪雨により崩壊した護岸の復旧工事です。
 増水により壊れたじゃかご工を撤去し、連接ブロック張工を施工しました。

連接ブロック張工施工箇所には、高さ2m前後、幅4m四方面程度の岩石が点在していたため、ブレーカー付バックホウで破碎しながら、もう1台のバックホウで床掘りをしました。岩石が予想以上に固く、苦勞しました。また、現場への進入路の幅員が狭い事もあり、資材搬入や残土搬出時には神経を使いましたが、地元の皆様のご理解とご協力のおかげをもちまして無事工事が竣工できました。



豊富な森林資源に恵まれる天竜地区で大きな活力になるかもしれない。

国の再生可能エネルギーの固定価格買い取り制度が浸透してきた。自治体によっては大規模発電施設の設置に対する補助制度も創設され、事業者の背中を押している。

そんな中で今回注目したいのは、間伐材や主伐材、建設廃材などを燃やすことで、化石燃料の燃焼による発電よりもCO₂の排出などを抑えることができる木質バイオマス発電。2012年7月に成立した「固定価格買い取り制度」では20年間の買い取りが保障され、日本の林業のあり方を変える可能性があると注目が高まっている。

「木質バイオマス発電」



My Family



天龍土建工業株式会社 福田 匠

我が家は結婚十二年目の妻と子供3人の家族で、天竜区山東に住んでいます。

今年の春から六年生になった菜桜は、小柄な体でありながら妹と弟の面倒や部屋の片付け等を進んで行く、とてもたくましい長女です。共働きの私達をいつも助けてくれています。次女の陽菜は、小学二年生。こちらは、姉弟の真ん中という事もありマイペースで自由奔放な行動をとるため、私達から叱られる事もしばしばありますが、弟思いのとても優しい娘です。そして長男大智は、今年幼

稚園に入園したばかりながら活発で家族で一番のエネルギーを発揮しています。お友達とボール遊びや砂遊びなど、外で走り回って遊ぶ事が日課のとにかく元気いっぱいな毎日を過ごしています。

小さいけれど、一生懸命に喜怒哀楽を体験する子供達の姿を見る度に私達も勇気付けられ励みになっています。これから先、ますます手がかかると思いますが、笑顔を絶やさず明るい家庭を築いて行きたいと思っています。父ちゃん頑張るゾ!!

医療法人社団 光久会
はるのセンター

片桐万梨花さん

介護の仕事を始めて6年目になりました。現在は昨年4月に春野町にオープンしたばかりのはるのケアセンターで働いています。オープン1年目なので、仕事内容や流れを決めるところから始まりまだまだ大変なことがあります。

老人施設のため利用者様は高齢の方ばかりです。オープン当初は2人きりだった利用者様も今では40人前後になりました。中には、入所ではなく月に何泊かの短期入所の方もいます。利用してくださる方が増えたことは、ありがたいとても嬉しいことです。

毎日たくさんの方と接してその方の笑顔を見ると嬉しい気持ちになります。しかし話しをしていると、もつとこうしてほしくないな、いろいろな思いを聞くこともたくさんあります。全員の気持ちに応えることは中々難しいこと

ですが、たくさんの方の話しに耳を傾け少しでも気持ちに添えるような介護をしていけるように努力したいと思っています。

この仕事は、周りの人からは自分にはできない、よくやるね、など言われることが多いです。確かにきれいなことばかりではないですし、人相手のことなので毎日何が起こるかわかりません。体力的にも精神的にも疲れてしまいます。しかし私はこの仕事にやりがいを感じるので、これからも利用者様や周りのスタッフの方々の力をお借りして成長できるように頑張りたいと思います。

かんとくさん

浜松市天竜
土木整備事務所
水窪土木工事
グループ
片倉 真也

本年四月から天竜土木整備事務所水窪土木工事グループに配属になりました。昨年度は本庁情報政策課、その前三年間は天竜区役所に勤務し、水窪は四年ぶり、土木関係業務は十年ぶりになります。

主な業務は道路や排水路等の小規模な修繕工事のほか、草刈や路面清掃などの日常の維持管理などです。水窪の道路は急峻な地形で急カーブや幅員の狭い路線が多く、小雨でも落石や崩土・倒木が発生するほか、構造物の老朽化による破損などもあり、これらの維持修繕に迅速に対応するよう努めたいと思います。また、冬季は積雪・凍結による交通規制が頻繁に発生することから、建設業者の皆様と連携を密にし、迅速で効率的な対応を図るよう努力していきたいと思っておりますので、よろしく願います。